

## 1. 9月全国行事

1) 防災の日	9月1日
2) 秋の全国交通安全運動	9月21日～9月30日
3) 全国労働衛生週間準備月間	9月1日～9月30日
4) 全国作業環境測定・評価推進運動	9月1日～9月30日
5) 環境衛生週間	9月24日～10月1日
6) 健康増進普及月間	9月1日～9月30日
7) 心とからだの健康推進運動	9月1日～9月30日

## 2. 安全・衛生・防災の心得 : 酷暑8月の安全・衛生・防火管理

## 3. 安全衛生巡視 良い事例(抜粋)

## 4. 他社 事故・災害事例から : 高温環境で体調不良者が熱中症

## 5. ヒヤリハット事例 : U字溝に足を取られて転倒

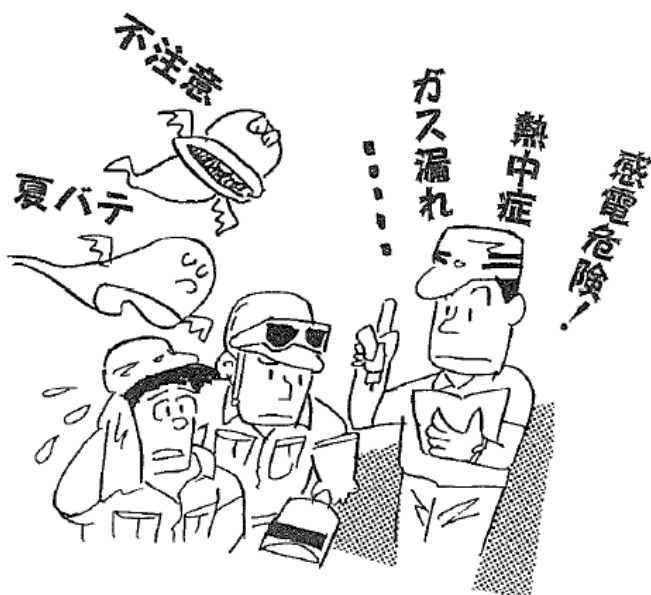
## 3. 安全・衛生・防災の心得 : 酷暑8月の安全・衛生・防火管理

～異常気象を想定 事故・災害・健康対策を～

・今年5月に北海道で39.5℃の猛暑日を記録するなど、北国だから夏は過ごしやすいとは言えなくなりました。昨年の夏は日本中に猛暑が襲い、職場や職場以外でも熱中症の急患が記録的に発生しました。今年の8月も昨年同様、それ以上の猛暑や豪雨・台風等の気象災害が予測されています。

この8月、特に次の事項に注意が必要です。

- ①感電事故・災害に注意 電気設備の絶縁劣化に加えて、人体が汗などで感電しやすい。
- ②熱中症に注意 熱中症対策は手抜きなく。特に高齢者や体調不良者には特段の注意を。
- ③ヤケドや薬傷に注意 熱くとも必要な保護具や保護衣は正しく着装。
- ④危険・有害なガスや蒸気に注意 高温で漏洩したり発散しやすい。特に高圧ガスの保管や取り扱いには嚴重注意。
- ⑤機械や設備に注意 潤滑油や冷却関係でトラブルが発生しやすい。点検・整備の徹底を。
- ⑥作業行動に注意 心身の不調等で「うっかりミス」が。指差し呼称等で安全の確認を。
- ⑦冷房に注意 過度の冷房は体調を崩す。省エネのためにも、小まめな温湿度管理を。
- ⑧健康管理に注意 良い睡眠、栄養、運動を心掛ける。食中毒には嚴重注意。
- ⑨台風・地震等の自然災害に注意 特にこの時期、台風・豪雨対策は備えをしっかりと。



4. 安全衛生巡視 良い事例(抜粋)

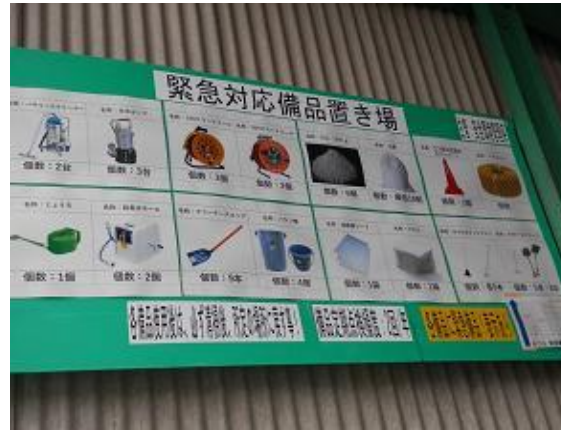
●仙台工場

・社内、関係会社の労災事例を実効的に横展開していること。



●九州第一工場

・緊急対応備品が一目でわかるよう表示していた。



5. 他社 事故・災害事例から : 高温環境で体調不良者が熱中症

～異変の発見が遅れ、多臓器不全で死亡～

(1)災害のあらまし

・金属製品の焼き入れ工程で被災者(男性58歳・経験35年)は、焼き入れされた材料を、次工程に送る作業を行っていましたが、午後3時ごろ被災者が倒れていたため、直ちに救急車で病院に搬送しましたが、5時間後に熱中症による多臓器不全で死亡しました。

(2)災害の主な原因

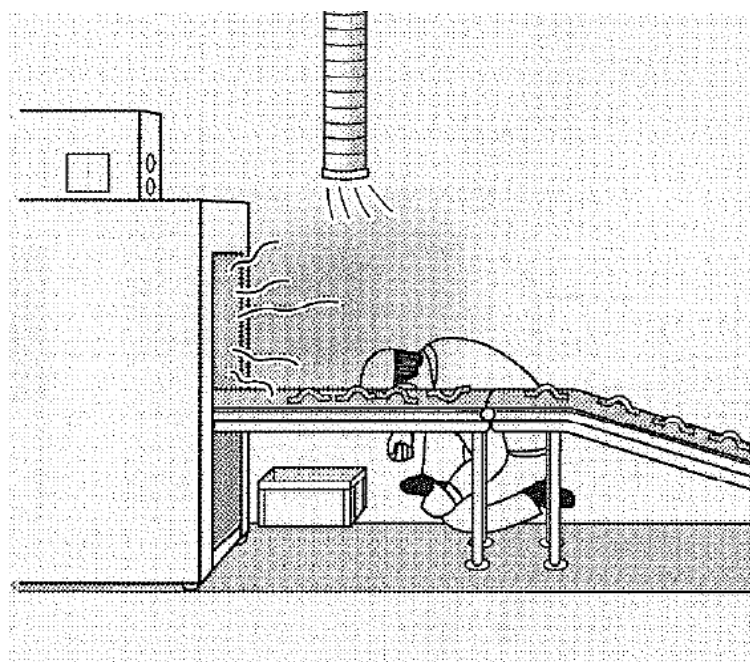
- ①被災者の作業位置の温度が摂氏40度を超え、WBGTが「危険な状態」であったこと。
- ②スポットクーラーが設けられていたが、設置位置や能力が不適當で、被災者の位置ではむしろ熱風になっていたこと。
- ③被災者は高齢で、朝から体調が優れなかったが、この工程の担当者が休んだため代行でこの行程の作業を行っていたこと。
- ④管理・監督者をはじめ、作業者の熱中症の予防・防止に関する知識等が不足していたこと、など。

(3)同種災害の防止対策 例

- ①作業場所に設けるスポットクーラーは、設置箇所や能力について作業者に効果があるよう設定する。
- ②作業中、自由に塩や冷水等を摂取できるよう作業方法を調整する。
- ③管理・監督者は、作業前並びに作業中も職場を巡回して作業状況をチェックする。特に体調不良者や高齢者等には注意する、など。

(4)環境安全部から

・熱中症予防にはこまめに水分を補給することが大事です。たくさん汗をかいたときは、スポーツドリンクや塩あめなどで水分とともに塩分も補給しましょう。



6. ヒヤリハット事例

・事業場より提出されたヒヤリハットです。危険予知活動に利用してください。

いつ	午後2時
どこで	ボイラー室で
何をしている時に	室内灯を点けず室内を確認している時
どうなった	室内中央南側にあるU字溝に足を取られそうになった